

自主シンポジウム55

「ICF(国際生活機能分類)の学校現場への適用
—小・中学校等での活用の可能性を探る—」

特別支援学校の センター的機能の立場から

山形県立上山高等養護学校
齊藤博之jazhiro@d1.dion.ne.jp

地域支援の実践から

小・中・高等学校に在籍する、
特別な教育的ニーズのある児童
生徒等に対して、どのような指
導を行うのか、指導計画の作成
や実際の指導・支援方法につい
て一緒に考える。

特別支援教育推進事業の展開

特別支援教育推進事業の展開

単にアドバイス
を行うだけで
よいのか？

コーディネーターを中心として、問題
状況の把握から課題設定、課題解決が
できるよになることが望ましい

コーディネーターを中心として、問題
状況の把握から課題設定、課題解決が
できるよになることが望ましい

しかし・・・・・・・・

- ・授業中に立ち歩いて迷惑。
- ・何度注意しても同じことを繰り返す。
- ・その時は覚えるけど、少し経つと忘れてしまう。
- ・普段はやさしいのに怒ると何を
するかわからない などなど

いったいこの子は
どうなってんの？



いったいこの子は
どうなってんの？

状態像や問題として取り
上げる事象が多種多様



「気になる」「何とかしたい」「うまく
いかない」「何をしたらいいの？」

問題状況の実体がつかめきれない

問題状況の実体がつかめきれない

相手のことを正しく理解しなければ
アプローチもうまくいかないー



子どもをどのように理解して、
どのように支援につなげるか

事 例

○市特別支援教育推進事業 か ら

○市立○○中学校における継続支援 年間計画

- 1) 校内研修(講話) 発達障がいについて
- 2) 校内研修 チェックリストの活用について
- 3) 校内研修 個別の教育支援計画をつくるために
- 4) 事前研 指導計画等への助言 授業参観
- 5) 授業研 → ○市 公開
- 6) 校内研修 講話 → ○市 公開



ICFを活用することで

ICF関連図の作

ICFの枠組みをインデックス
として断片的だった情報を整
理

子どもに関する状況が
関連的に、総合的に把
握される

まずは問題状況の
実体をつかむこと

この子が悪かった
わけじゃないんですね

